

預金債権の消滅等に係る問題

2012年6月

金融法務研究会

は し が き

本報告書は、金融法務研究会第2分科会における平成20年度の研究の成果である。

金融法務研究会は、平成2年10月の発足以来、最初のテーマとして、各国の銀行取引約款の検討を取り上げ、その成果を平成8年2月に、「各国銀行取引約款の検討—その1・各種約款の内容と解説」として、また平成11年3月に、「各国銀行取引約款の比較—各国銀行取引約款の検討 そのII」として発表した。平成11年1月以降は、金融法務研究会を第1分科会と第2分科会とに分けて研究を続けている。

第2分科会では、平成11年度・12年度に「消費者との銀行取引における法律問題について」を、平成13年度に「金融取引における『利息』概念の検討」を、平成14年度に「預金の帰属」を、平成15年度に「債権・動産等にかかる担保法制の問題」を、平成16年度に「最近の預金口座取引をめぐる諸問題」を、平成17年度に「担保法制をめぐる諸問題」を、平成18年度には「銀行取引をめぐる消費者保護の現代的展開」を、また平成19年度には「動産・債権譲渡担保融資に関する諸課題の検討」をそれぞれテーマとして取り上げ、報告書を発表している。同分科会では、平成20年度は「預金債権の消滅等に係る問題」をテーマとして取り上げ、そこでの研究成果を本報告書に取りまとめた。

本報告書では、第1章で「預金債権の消滅時効について」（能見善久担当）、第2章で「銀行預金の時効について（外国法）」（山下純司担当）、第3章で「預金者の死亡による相続と金融機関がする預金の払戻し」（山田誠一担当）、第4章で「預金債務の供託による消滅」（中田裕康担当）を取り上げている。

第1章では、銀行預金債権がどのような場合に時効にかかるか、いつから進行するか等について預金の種類ごとに検討している。第2章では、銀行預金の消滅時効の適用の有無、起算点等について、フランス・ドイツおよびイングランドについて検討している。第3章では、預金者に相続が開始した場合に可分債権になるか、不当利得になるか等に関する判例について検討する。第4章では、預金債務についての問題状況、弁済供託の要件、供託の要件等を検討している。なお、上記の論文の他に、参考として研究会報告の際のレジюмеを載せている。

本報告書が銀行実務家をはじめ、各方面の方々のお役に立つことができれば幸いである。

本研究会には、銀行の法務分野の実務を担当される方にオブザーバーとして参加いただいている。また、事務局を全国銀行協会業務部をお願いしている。

最後に、同分科会では、平成21年度には「相殺および相殺的取引をめぐる金融法務上の現代的課題」を、平成22年度には「金融取引における約款等をめぐる法的諸問題」をテーマとして取り上げ、研究を続けている。

平成24年6月
金融法務研究会顧問
前 田 庸

目 次

第1章 預金債権の消滅時効について（能見善久）	1
1 はじめに	1
2 預金債権の消滅時効に関する幾つかの問題	2
(1) 時効期間	2
(2) 時効の起算点	3
(3) 時効中断等	13
(4) 消滅時効の援用権の制限と信義則	15
3 預金契約の終了と消滅時効	15
第2章 銀行預金の時効について（外国法）（山下純司）	17
1 はじめに	17
2 フランス	17
3 ドイツ	18
4 イングランド	18
5 まとめ	20
第3章 預金者の死亡による相続と金融機関がする預金の払戻し（山田誠一）	21
1 はじめに	21
2 金銭債権（可分債権）は当然に分割されるとする最高裁判決	21
3 預金債権に関する複数の下級審判決	23
4 不当利得が問題となった3つの最高裁判決	36
5 相続分を指定する遺言があった場合の法律関係	41
第4章 預金債務の供託による消滅（中田裕康）	42
1 問題状況	42
2 預金債務についての弁済供託の要件	43
(1) 弁済供託が問題となりにくい事情	43
(2) 具体的事例の検討	44
(3) 預金者の確定の可能性	45
(4) 供託の可否と銀行の対応	46

3 預金債務についての弁済供託の効果	47
(1) 弁済供託による債権の消滅と銀行預金における問題	47
(2) 預金債務の帰趨 —— 保管と返還	48
(3) 預金債務の帰趨 —— 残高債務の内容	49
(4) 預金債務と預金契約	51
(参考) 金融法務研究会第2分科会の開催および検討事項	52
(参考レジュメ①) 預金の払戻しと銀行の免責 (野村豊弘)	53
(参考レジュメ②) 金融機関は預金を誰にどのように払い戻せばよいか (山田誠一)	59
(参考レジュメ③) 預金債権の消滅時効について (能見善久)	61
(参考レジュメ④) 預金債務の供託による消滅 (中田裕康)	68
(参考レジュメ⑤) 債権者不確知預金の払戻しに関する手続法上の問題について (青山善充) ...	69